

Press Release

2005年5月10日

報道関係各位殿

エクセルソフト社は、 SDLX 2005を5月10日より販売開始！！

エクセルソフト株式会社（東京都港区 代表取締役 渡辺光敏 資本金 1 千万円 TEL 03-5440-7875）は、SDL International 社のローカリゼーション・翻訳ツール「SDLX 2005（エス・ディ・エル・エックス 2005）」を 2005年 5月 10日より日本にて販売開始いたします。

製品名：

- **SDLX 2005**
（エス・ディ・エル・エックス 2005）



製品カテゴリー： ローカリゼーション・翻訳ツール

製品概要

SDLX 2005 は、ローカリゼーション ベンダーの SDL International 社が開発した翻訳メモリツールです。SDLX を使用すると、一度翻訳したセグメント（文や句）はデータベース（翻訳メモリ）に保存されるため、同じセグメントを何度も翻訳する必要がありません。翻訳メモリ、用語集管理機能、および翻訳自動検出機能を使用すると、テキスト ファイル、XML、MIF ファイルなど、ファイルの複雑さに関係なく、一貫性のある翻訳を行うことができます。SDLX は、プロジェクトの見積もりから翻訳作業、用語集の作成、翻訳メモリの管理まで総合的なローカリゼーションソリューションを提供し、プロジェクトに費やす時間と経費の大幅な削減を提供します。

SDLX 2005 の新機能

- Xtra 機能の追加:
 - SDL XLIFF - 1 種類のファイル形式で HTML、Java、XML などの文書を翻訳できます。
 - SDL Utilities - SDLX でのレビュー プロセスをさらに簡単にします。
 - SDL Exchange - TRADOS® の保守に必要な費用を削減します。
 - SDL Compare - 編集段階が異なる複数の ITD ファイルを比較し、差異を表示します。
- QA チェック:
 - 用語 QA チェック - 用語集にある用語が正しく使用されているかを確認します。
 - 不完全な翻訳 - 空の翻訳 (i.e. ターゲットセグメントに何も記載されていない)、翻訳漏れ (i.e. 未翻訳のセグメント)、または一部が未翻訳なセグメントを確認します。
 - 一貫性のない翻訳 - 翻訳の一貫性を確認します。文字化け、句読点、書式、および正規表現の一貫性なども確認できます。

- ひとつの ITD ファイルを複数のファイルに分割:
ワード数、セグメント数、または指定したファイル数で ITD ファイルを分割します。
分割したファイルを複数の翻訳者に配布することができます。
- プレビュー機能の強化:
ソース文書をオリジナルのファイル形式で表示します。ソース文書が手元にない場合でもレイアウト、書式、また文書全体の表示を確認できます。
- MS Office ファイルのサポートを強化:
中間ファイル (OTF ファイル) を作成せず、ファイルを直接インポートするだけで、解析、アライン、編集を行うことができます。
- RTF フィルタの強化:
翻訳する上で不要な書式が表示されなくなりました。
- XLS フィルタの強化:
翻訳する必要がない行や列を非表示にし、SDLX 2005 にインポートしないよう設定できます。
- Oracle サポート:
Oracle バージョン 8 以降のデータベースに翻訳メモリを保存できます。

必要なシステム

ハードウェア

- OS: Windows NT4.0、2000 または XP
- CPU: Pentium III 1 GHz 以上を推奨
- メモリ: 512MB 以上を推奨
- モニタ: 800x600 解像度以上を推奨
- ディスク容量: 50MB

価格

- SDLX 2005 Elite ¥546,000 (税抜 ¥520,000)
- SDLX 2005 Professional ¥245,700 (税抜 ¥234,000)
- SDLX 2005 Standard ¥95,550 (税抜 ¥91,000)

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
その他の製品名、機種名は、各社の商標または登録商標です。

このプレス・リリースについてのお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

[お問い合わせ先] エクセルソフト株式会社 営業部

TEL:03-5440-7875

URL:<http://www.xlsoft.com/>

FAX:03-5440-7876

E-mail: xlsoftkk@xlsoft.com